

## 第10章

## 人事院総裁賞及び各方面との意見交換等

## 第1節 人事院総裁賞

「人事院総裁賞」は、国家公務員が国民全体の奉仕者としての強い自覚の下に職務に精励し、もって公務及び公務員の役割についての理解と公務に対する信頼を高めることに寄与したと認められる職員又は職域グループを顕彰するもので、昭和63年に人事院創立40周年を記念して創設された。

被顕彰者は、人事院総裁の委嘱する各界有識者からなる選考委員会（令和元年度は佃和夫委員長（三菱重工業株式会社特別顧問）のほか、6人の委員）が、各府省及び行政執行法人から推薦された職員又は職域グループについて厳正な審査・選考を行い、その結果に基づいて人事院総裁が決定している。

第32回を迎えた令和元年度「人事院総裁賞」は、個人2名及び職域3グループに対して授与された（表10）。授与式は、令和2年2月12日、東京都内において行われ、その後、受賞者及び受賞職域グループ代表者は、赤坂御所において天皇皇后両陛下に御接見を賜った。

令和元年度までの被顕彰者の合計は、個人66名、職域97グループとなっている。

表10 令和元年度「人事院総裁賞」受賞者及び受賞職域グループ

## (1) 個人部門

氏名・官職名	顕彰理由
農林水産省 関東農政局 農村振興部 国営事業情報分析官 降旗 英樹	タイの洞窟で遭難した少年らの洞窟からの救出活動を排水の技術的助言により支援し、洞窟内の水位を下げ救出活動を可能にする役割を果たして、公務の信頼を高めることに大きく貢献
海上保安庁 総務部 海上保安試験研究センター 試験研究官 山崎 ゆきみ	犯罪捜査に係る証拠物件である油類・船舶塗膜等の分析・鑑定業務に29年間従事し、迅速・的確な鑑定の実施、分析鑑定業務の能力・信頼性の向上に尽力し、海上保安庁の捜査業務に大きく貢献

## (2) 職域部門

府省名・職域名	顕彰理由
国土交通省 国土地理院 測地部 測地基準課	明治政府が近代測量に着手して以来150年、山岳部や離島の厳しい環境の中、正確な位置（緯度、経度）と高さを与える測地基準点の整備及び維持管理により、国土の保全と管理、社会の安全・安心の確立に大きく貢献
気象庁 沖縄気象台 石垣島地方気象台	120年以上にわたり、途切れることなく同じ地点で気象観測を継続し、世界気象機関の百年観測所として国内で唯一認定。台風最前線の地で山岳気象レーダーの安定運用に尽力し、気象庁の観測・予報業務に大きく貢献
海上保安庁、財務省税関、 厚生労働省地方厚生局麻薬取締部	長期の粘り強い内偵捜査を行うとともに、関係機関で合同捜査体制を構築して、海上及び陸上における徹底した水際対策を実施し、過去最大量となる覚醒剤約1トン（末端価格約600億円相当）の密輸入を阻止し、国内治安の維持に大きく貢献



天皇皇后両陛下に御接見を賜る受賞者と配偶者

## 第2節 各方面との意見交換等

人事行政を適切に運営していくため、各方面から公務員や公務員制度に対する率直な意見を聴取するとともに、公務に対する理解を得るよう努めている。

これらの意見については、制度改正などを通じ、人事行政の方針の策定や運営面に反映させていくこととしている。

### 1 公務員問題懇話会

地方の実情を的確に把握するため、富山市、大阪市及び大分市において、人事行政全般に関する諸問題について、それぞれの地域の各界有識者と人事院幹部が意見交換を行った。

### 2 企業経営者等との意見交換

中小企業経営者、報道機関の論説委員等を対象に、平成31年4月から令和元年5月にわたり全国51都市において、国家公務員給与の決定方法、人事院勧告の意義・役割等を説明するとともに、地域における経営環境、賃金改定の動向及び公務員給与の在り方等に関して率直な意見交換を行った。

### 3 参与との意見交換

人事行政に関する重要な事項について意見を求めるため、各界の有識者に参与を委嘱し、意見交換を行った。

### 4 有識者の職場訪問

ふだん目に触れることの少ない各府省の様々な職種の勤務実態などを直接目の当たりにすることで、公務員に対する理解を深めてもらうことを目的に、人事院では外部有識者による公務職場への訪問の機会を設けている。令和元年度は、本院及び地方事務局（所）において、報道機関の論説委員等の有識者による出入国管理官署、港湾・空港関係官署及び海上保安官署等への訪問を行った。